

あすなろ

平成22年度4月号

平成22年4月6日

四天王寺悲田院 通園施設

子どもたちの目標

- 「規則的な生活と元気な体づくり」
- 「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
- 「自分のことは自分でする」
- 「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
- 「知らない所でもなじむことができる」
- 「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
- 「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」

4月の予定

- 1日(木) にゅうえん・しぎょうしき
- 2日(金) 療育開始
- 3日(土) おやすみ
- 8日(木) はなまつり
- 10日(土) おやすみ
- 13日(火) 運営協議会
- 23日(金) ひなんくんれん
- 24日(土) おやすみ
- 29日(木) しゅくじつ 昭和の日



職員紹介

施設長 成澤佐知子

小澤折子(支援長) 小山清之(支援長) 福井敦子(支援長)

医療(医療・療法統括:小濱)

- (看護師) 村上朱美 河野清仁 岡辻真寿美
- (作業療法) 宇多敬子 今村香織 加藤世里子 三宅瑞穂
- (言語療法) 小濱正芳 大田侑貴子
- (心理) 安政久仁子 寺井文絵

保育(保育統括:長部谷)




にじ	はな	つき	そら	ほし	ゆき
長部谷百合子	松尾早紀	北谷みゆき	大釜砂代子	船本裕代	福井敦子
大内淑子	西田宏太郎	角 万里奈	酒井 俊	西岡 幸	野海 裕
増田千代美	足立富士美	吉積雅恵	塩野治子	由村 庄	音瀬詩織
		松山偉子	富田幸子	小林智子	土岐みどり

フリー職員・三浦利恵

栄養 渡邊菜央美(栄養士) ・栄食メディックス株式会社

バス運行 サンワ運行委託

1年間どうぞよろしく願いいたします。

ご 注 意 と お 願 い 

● 電話をいただく際には。

悲田院では複数の施設があり、電話回線も共同で使用しています。通園からみなさまのご自宅や携帯電話にお電話をした場合、これら複数の電話回線を使用しますので、お電話にディスプレイされる番号あるいは着信履歴は、必ずしも通園の電話番号ではありません。

したがって、ディスプレイされた番号におかけいただいても通園施設にはつながりません。ご返信いただく場合には、着信履歴に残っている番号や、ディスプレイ番号ではなく、

必ず、次の番号をダイヤルの上、お電話ください。

療法士や心理士、看護師へのご用件の場合でも、こちらへお電話下さい。

通園施設にご用件のある場合は、072-957-7516

上記以外の電話番号にお電話いただいた場合、別の部署につながり、お申し出に対して要領が得ず、ご迷惑をかけたり、通園施設へ電話がつかなくなるまでに、何度も用件を聞かれたり、時間がかかったり、皆さまに不快な思いをさせてしまうこともあるかと思ひます。ご理解いただき、お知らせした番号へおかけいただきますようお願いいたします。ご理解の上ご協力おねがいいたします。

● 駐車場をご利用いただく際には。

駐車場が狭く、大変ご迷惑をおかけしております。院内の決められた場所に駐車していただきますよう、今後ともご協力お願いいたします。この際には、車のフロント部分（外から見えるように）に、必ず駐車整理券を提示ください。駐車場が満車で止めることができないときは、通園施設へご連絡ください。

● 保険証等の届出について。

みなさまにご提示いただいております、各種保険証や各種医療証ですが、毎年年度初めに再確認させていただくことになりました。《平成22年4月以前に、入園された方》は、現在ご使用の各種保険証、各種医療証のコピーをご提出ください。（医務、または保育担当者へお渡しください）

また、年度途中で、記載内容（住所、氏名、期間、番号など）が変更された場合につきましても、変更が生じた場合は再提出をお願いしております。お気づきの場合は速やかに再提出をお願いいたします。

● 高齢施設建て替え工事について

昨年度から悲田院高齢施設の建て替えが始まっています。工事車両の通行や駐車場の件などで、ご不便をおかけすることも多いと思ひますが、ご理解ご協力を重ねてお願いいたします。



寒い日が続いておりましたが、ようやく春らしい暖かさを感じられるようになりました。

4月1日は、入園、始業式がありました。満開の桜の花とともに、新入園のお子さんをお迎えでき、大変うれしく思っています。平成22年度は、62名からのスタートになりました。子どもたちみんなにとって、通園での生活が楽しいものとなるよう、職員一同気持ちを新たにしております。

幼い子どもたちにとって、1年という時間の流れは大変貴重なものです。初めてのことに挑戦する時のドキドキした表情、出来なかった事が出来るようになった時のとてもうれしそうな笑顔、うまく出来なくて泣いてしまう時も、その一瞬、一瞬を子どもたちは輝いて生きています。子どもたちが、一つでも多くのことを学べるよう、一人ひとりの子どもの心の声に耳を傾け、見つめる目の先にあるものをしっかり見て、声の大きさや鼓動の早さから心の動きを感じ、子どもたちを理解するための努力を惜しまず毎日をご過ごしたいと思ひます。

そして、子どもたちの成長にはご家族の皆さまのご協力は欠かせません。保護者の皆さまの願いや期待をお伺いし、共に歩む姿勢を大事にしながら、通園施設での取り組みもご理解いただけるよう、対話を大事にしながら、療育を進めてまいります。十分にご説明できるよう準備を整えてまいります。ご説明が足りない時、わかりにくい事がありましたらご遠慮なくお申し出ください。

1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

施設長 成澤佐知子